

文化と地域の開発：最大限の成果を求めて

地方政府、コミュニティ、ミュージアム向け OECD-ICOM ガイド

ミュージアムや文化遺産は地域発展を強力に後押しする大切な資産であり、観光客を誘致し、収益を生み出し、地域経済を活性化し、包摂を強化し、文化の多様性を促進し、地域のアイデンティティを再構築する力となります。現に数十年前からこうした資産を活用し、広範な経済発展戦略の一環として文化遺産に軸足を置いた地域活性化計画を進めてきた市や地域もあります。同時にミュージアムの間でも文化遺産の効用に対する認識が高まっており、文化遺産の収集、保存、教育といった従来の機能を強化する一方で、経済的社会的変化の媒介者という新たな役割を担う試みが始まっています。

なぜ地方政府、ミュージアム、コミュニティなのか

地方分権化の流れや財政逼迫を背景に、ミュージアムと地方政府の連携に向けた機運が高まっています。こうした中、国、市、地域政府、ミュージアムコミュニティ、民間財団などの関係機関の間で以下の三点に大きな関心が集まっています。

- 公的資金と民間資金を効果的に引き出すことを目的に、文化やミュージアムが地域発展にもたらす**効果を示す新しい方法**。その背景には、これまでミュージアムの活動がどこまで増収増集客による消費拡大、雇用の創出に結びついているかの実証に向けた議論が、その社会的影響の検証にシフトしてきたという事情があります。
- ミュージアム、地域経済、社会機構の間につながりを創り、最大化するための**効果的な取組の事例**およびこうした取組が、文化、観光から雇用、スキル、健康、ビジネス開発、イノベーション、空間計画に至る幅広い政策に対し、どのような効果を及ぼしうるのか。
- **新たなガバナンスと資金確保のあり方**。これは人事や財務などの業務におけるミュージアム組織のあり方にもかわる新たな課題となっています。また経済、社会、空間開発戦略に新たな視点を効果的に盛り込むことが地方政府や地域政府に求められています。



地方政府、コミュニティ、ミュージアム向け OECD-ICOM ガイド

2018年、OECDとICOMは「文化と地域開発：最大限の成果を求めて－地方政府、コミュニティ、ミュージアム向けガイド」を共同で作成しました。ガイドの有効性は、OECD加盟国の20以上のミュージアムと市、およびICOMの各種委員会によって検証されています。本ガイドは、2018年12月にヴェニスで開催された文化と地域開発に関する初のOECD会議の場で、OECDとICOMにより発表されました。

本ガイドは、学習、自己評価、開発のためのツールであり、次のように活用することができます。

- **地方政府や地域政府**が、文化遺産の持つ社会的、経済的価値の最大化を目指す各自の取組を評価し、その改善をはかるためのツールとして。
- **ミュージアム**が、地域経済や社会組織とのつながりについて、その現状と可能性を評価し、強化するためのツールとして。
- **ミュージアム、地方政府、コミュニティなどの関係機関が連携**するための具体的方法を確立するためのツールとして。
- 文化と遺産をてこに地域発展を進めるための**学習ツール**として。

主要テーマ

本ガイドは以下のテーマを中心に構成されています。

1

経済発展のためにミュージアムの力を活用する 芸術や遺産がもたらす経済効果には、雇用創出、収入増、地元の消費拡大などが挙げられます。またミュージアムには、その土地の魅力を高め、有能な人材や高付加価値企業を呼び込むとともに、分野横断的提携を通してイノベーションを創出し、新しい製品やサービスを生み出す力があります。

2

ミュージアムの役割を足掛かりに都市再生とコミュニティ開発を進める ミュージアムの建設や改修は都市再生を促すとともに、従来の経済基盤を失いつつある地域に新たな息吹を吹き込みます。また昔ながらの触れ合いの場や伝統的な会合の場が失われゆく現代において、ミュージアムは人々をつなぐ社会資本を構築する場にもなります。

3

文化意識の高い創造的な社会の創出に貢献する ミュージアムはこれまで主に文化的意識と教育レベルの向上を設立の目的に掲げてきましたが、時代とともにこうした目的はより複雑化し、今やトレーニングや生涯学習の場としても活用されています。またさらにその対象も地元住民だけでなく移民などに広がっています。

4

包摂、健康、幸福を達成する場としてのミュージアム ミュージアムは、失業者、社会的弱者、リスク集団が自信を高め、自制心や向社会的態度・行動を養うための機会を提供し、その社会統合を促す力になります。また異文化間対話の場を提供することで移民統合に貢献するとともに、障がい者の幸福度を向上するための新たな方法を創出しています。

5

地域開発のための手段としてミュージアムを重点的に活用する ミュージアムは、ドライバー（原動力）として、またイネイブラー（実現を可能にするもの）として、地域の発展に資することができます。地方政府は文化を基軸に地域の発展をはかるとともに、資源（規制、資金、土地、人材など）を結集することにより、ミュージアムが地域発展に向け、その潜在力を発揮する環境を整えることができます。また地域開発の課題と見直しに対して説明責任を担うミュージアムの新たな運営枠組みも必要になります。

2019-20 年度版ガイドの次のステップ

- 世界の各地域、市、ミュージアムに対して**本ガイドを活用するよう働きかける**。
- グッド・プラクティス事例をまとめたデータベースを作成し**、成功事例から学びたいと考える者や別の政策アプローチを試行または検討したい者、成果の向上を目指す者に提供する。
- 2019-20 年度の経験を盛り込んだ**第 2 版のガイドを作成する**。

本ガイドの活用法

- 国、地域、市、ミュージアムにできること
- 指針に沿った自己評価への参加と個別の報告書の発行を依頼する。**
- グッド・プラクティス事例のレポジトリに追加する革新的な事例を紹介する。**
- OECD や ICOM に主要な所見を発表してもらうため、会議やワークショップへの参加を呼び掛ける。**
- 本ガイドの母国語への翻訳を支援する。**

次のサイトで本ガイドの各国語版をご覧ください。

<http://oe.cd/culture> | <https://icom.museum>

連絡先：OECD - Ekaterina.Travkina@oecd.org 起業家、中小企業、地域、都市向け OECD センター
文化、クリエイティブ産業および地方発展担当コーディネーター

ICOM - Afsin.Altayli@icom.museum ICOM 事務局 ミュージアムおよび社会担当コーディネーター